



目 次

- ◆ [大学院理学研究院長・理学院院长・理学部長就任にあたって](#)
- ◆ [北海道・東北地区 国立大学法人理学部長会議の開催](#)
- ◆ [「キャンパス・クリーン・デー」を実施](#)
- ◆ [「理学・生命科学メンタルヘルス講演会」を開催](#)
- ◆ [学会賞等の受賞等](#)
- ◆ [国際会議・シンポジウム等の開催](#)
 - [「第9回北海道大学-ソウル大学ジョイントシンポジウム」を
開催【化学専攻】](#)
 - [「第9回北海道大学-ソウル大学ジョイントシンポジウム」を
開催【生命理学専攻】](#)
 - [「International Mini-symposium on Advanced
Chemistry
and Chemical Education」を開催](#)
 - [「北大帝人ブレインストーミングワークショップ」を開催](#)
- ◆ [外国人研究者受入状況\(2007.01.01~2007.05.01\)](#)
- ◆ [海外からの来訪者\(短期滞在\)\(2007.01.01~2007.05.01\)](#)
- ◆ [学位授与 平成19年3月23日付け学位授与者](#)
- ◆ [人事異動\(正規職員・非正規職員\)\(H19.01.02~
H19.05.01\)](#)
- ◆ [行事予定\(平成19年4月~平成19年10月\)](#)

◀本館南面▶
青葉にジンパ

大学院理学研究院長・理学院長・理学部長就任にあたって

山口 佳三

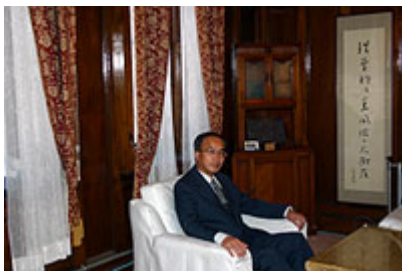
今年4月から理学研究院長・理学院長・理学部長の三職の兼任をおおせつかりました。

1月の選挙の直後に3つの教授会によって承認願いました。正直なところ、3つの教授会で受諾のあいさつを、どう切り分ければよいのかとまどいました。

学院・研究院構想に則ったこの体制は、岡田先生のもとで、その整備が行われました。3つの組織の構成員がずれているため、手続きとしては、どうしても複雑になりますが、代議員制を活用して、実際はあまり複雑でない運営をめざしたいと思います。

理学研究院が発足して2年目ですが、幸いその運営体制については、岡田先生のご尽力で、現在のところ、懸案事項は特別に残されてはおりません。私の任期中の課題は、やはり北海道大学の法人化にあたっての対応であろうと考えています。今年は、法人化4年目に入り、法人化後、最初の中期目標・中期計画期間の後半が始まりました。本年最大の課題は、秋から本格化します「暫定評価」への対応であろうと思われます。これも、一般の教職員の手をあまり煩わせることなく対応できればと思っています。これから「評価」を乗り切り、つぎの中期目標・中期計画立案に向けての準備期間となります。大学として「法人化」を咀嚼する大事な局面となるでしょう。

この3月までの3年間、私は北海道大学としての法人化対応を企画経営室の役員補佐として手伝わせて頂きました。その仕事を通して実感したことは、法人化された「大学」にあって、やはり最も大切なことは、どんな状況変化があっても、基礎科学等の基本的な学問の教育・研究が弛まず推進されることである、ということです。



今後の2年間にあっても、教育研究のための競争的資金の獲得等、知恵を出し合って工夫しながら基礎科学の振興を諮る努力が試される局面が続くであろうと思われます。

理学研究院にあっては、そのために構成員が知恵を出し合って、力を合わせ、より良い理学研究院へと発展するようご協力いただければ幸いです。

北海道・東北地区国立大学法人理学部長会議の開催

第7回 北海道・東北地区国立大学法人理学部長会議が5月10日（木）、本学の当番によりフアカルティハウス エンレイソウ 第2会議室で開催されました。

本会議では、協議題として、「理学部志願者および大学院進学の動向」、「助手から助教移行に伴う担当授業科目」について、各大学における取り組みと検討状況が報告され、活発な意見交換が行われました。

なお、「理学部志願者および大学院進学の動向」の中では、本学で実施している文部科学省「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」の基礎科学上級スキル人材ステーション(S-Cubic)の取り組みについて披露され、各大学の関心を集めていました。



「キャンパス・クリーン・デー」を実施

札幌キャンパスで全学一斉の構内清掃作業「キャンパス・クリーン・デー」が平成19年4月24日(火)に実施され、理学部でも多くの教職員・学生が参加しました。

この「キャンパス・クリーン・デー」はキャンパスの環境保全事業の一環として、例年実施されています。

幸い天候にも恵まれ穏やかな陽気のなか、強風や雪害で折れてしまった樹木の枝や、雪の下に眠っていた枯れ葉、ごみ、金属片などを拾い集めました。

150双ほど用意した軍手はすぐになくなり、特に学生さんの参加が多く見られました。この取り組みは単なるゴミ拾いの清掃ではなく、少しでもキャンパス内の環境問題に関心を持つ「環境教育」の役割もあり、大変有意義な時間であったと思います。来年度以降も多くの方の参加をお願いいたします。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

(会計担当)



「理学・生命科学 メンタルヘルス講演会」を開催

去る平成19年5月17日に、本学理学部7号館310（大講義室）において「理学・生命科学 メンタルヘルス講演会」が開催されました。

この講演会は、最近続けて発生した学生の自殺や心因性疾患の増加傾向に対し、教職員が協力して学生が相談しやすい環境を作るよう努力することが関係教授会において確認されたことに合わせ、メンタルヘルスケアについて先ず教職員が学ぼうと、大学院理学院・理学部学生委員会が主催し、生命科学院担当教職員等にも呼びかけて開催されたものです。

学生委員長（伊土副学院長・評議員）による開会挨拶、趣旨説明及び講師紹介の後、本学保健管理センター専任講師（精神科）の朝倉先生から、「大学におけるメンタルヘルスについて」と題して約60分間のご講演をいただきました。

当日は、会場の都合等により「捏造問題を考える講演会」と重複したこともあり、参加者は40余名程度に留まりましたが、理学研究院，先端生命科学研究院，薬学研究院，地球環境科学研究院等に所属する幅広い教員が参集しました。講演終了後の質疑応答では、学生や親との対応における留意点などについて熱心な質問が相次ぎました。一つ一つの質問に丁寧にご説明くださいました朝倉講師に、改めて御礼申し上げます。

なお、大学院理学院・理学部学生委員会としては、今後引き続き、理学部2年次学生を対象とした「メンタルヘルス講演会」の開催を計画しています。



学会賞等の受賞等

北海道大学大学院理学研究院 化学部門 並河 英紀 助教は、「帯電性脂質分子膜の外場膜泳動と膜内分子拡散性制御」により、2007年4月19日、社団法人日本化学会から「日本化学会第87春季年会 優秀講演賞」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 自然史科学部門 見延 庄士郎 教授は、「十年スケール変動などの気候変動研究」により、2007年1月、Marquis Who's whoから「Who's who in the world 2007 edition および Who's who in Asia 2007 edition」に採録されました。

北海道大学大学院理学研究院 自然史科学部門 吉澤 和範 助教は、「表面波の波形解析と有限波長トモグラフィ法に関する理論的・実践的研究」により、2007年5月19日、社団法人日本地震学会から「2006年度 日本地震学会 若手学術奨励賞」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 化学部門 魚崎 浩平 教授は、中国の主要大学の1つである南京大学から兼職教授の称号を授与され、2007年3月22日、南京大学において授与式が行われました。これは表面物理化学における魚崎教授の国際的業績が評価されたものです。

南京大学とは化学専攻を中心に長年共同研究が進められていましたが、一昨年3月の理学研究科と南京大学化学・化工学院南京大学との間の友好学術交流協定の締結、南京（2005年11月）と札幌（2006年11月）で1回ずつ開催された先端化学に関するシンポジウム、さらに昨年5月の北海道大学と南京大学の間の大学間交流協定締結など、より密接な交流が進められています。魚崎教授はこれらの交流に中心的役割を果たしています。



配合化学国家重点实验室 | 介观化学教育部重点实验室 | 生命分析化学教育部重点实验室 | 化学

学院概况

- 《学院简介》
- 《历史沿革》
- 学科介绍
- 《无机化学》
- 《分析化学》
- 《有机化学》
- 《物理化学》
- 《高分子化学与物理》
- 《应用化学》
- 师资队伍
- 组织机构
- 《党委》
- 《行政》
- 《院办公室》
- 《委员会》
- 《教研机构》
- 《服务机构》
- 《党群组织》
- 科学研究
- 《研究方向》
- 《科技获奖》
- 《科技论文》
- 《成果转化》
- 《授权专利》
- 人才培养
- 《本科生》
- 《研究生》
- 《继续教育》
- 《博士后》
- 学生园地
- 校友天地
- 《院校友会》
- 《校友风采》
- 《老照片》

授予Kohei Uosaki南京大学兼职教授仪式

3月22日, 我院举行授聘仪式, 授予日本北海道大学鱼崎浩平教授南京大学兼职教授。冯维波书记主持了授聘仪式, 院学术委员会主任陈洪渊院士介绍了鱼崎浩平教授的简历, 院长郭子建教授代表学校宣读了授聘决定, 向鱼崎浩平教授颁发了聘书并佩戴校徽。鱼崎浩平教授在授聘仪式上发表了热情洋溢的讲话。仪式结束后, 鱼崎浩平教授作了题为“Metal Deposition on Organic Monolayers Formed on Gold and Silicon Surface”的学术报告。



(一部を拡大→)

Kohei Uosaki南京大学兼职教授仪式

3月22日, 我院举行授聘仪式, 授予日本北海道大学鱼崎浩平教授南京大学兼职教授。冯维波书记主持了授聘仪式, 院学术委员会主任陈洪渊院士介绍了鱼崎浩平教授的简历, 院长郭子建教授代表学校宣读了授聘决定, 向鱼崎浩平教授颁发了聘书并佩戴校徽。鱼崎浩平教授在授聘仪式上发表了热情洋溢的讲话。仪式结束后, 鱼崎浩平教授作了题为“Metal Deposition on Organic Monolayers Formed on Gold and Silicon Surface”的学术报告。



国際会議・シンポジウム等の開催

○ 第9回北海道大学－ソウル大学ジョイント・シンポジウムを開催【化学専攻】

第9回北海道大学－ソウル大学ジョイント・シンポジウムのサテライトセッションとして「ナノ構造物質と分析」に関する会議が、ソウル大学化学科の教員5名、学生11名を迎えて1月24日（水）～26日（金）の3日間にわたって理学部本館と6号館において開催されました。化学系の分科会は初めての開催でしたが、ナノ構造とバイオ分析関連の話題を中心として他部局からも数多く参加していただき、講演9件とポスターセッション31件の発表が行われました。

講演では会場の教室が一杯になるほどの参加があり、熱心な質疑が行われました。一方、ポスターセッションでは大学院生（本学21件、ソウル大学10件）が発表を行いました。日韓双方の学生が英語で積極的に議論をしている姿が印象的でした。

また、ポスター会場で引き続き懇親会を開催したことで、お互いの交流がより深まったように思います。

分科会終了後には、化学専攻の3研究室の研究室見学を行いました。さらにその後、学生同士約20人は札幌市内にて夜遅くまで親睦（しんぼく）を深めたようで、こうした機会が学生にとって貴重な体験になり、その後の交流に繋（つな）がっていくことを改めて感じました。

今回の開催は準備時間が短い中、化学専攻が受けている文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブ「高邁（こうまい）なる大志を抱いたT型化学者養成」と、ソウル大学化学科が受けているBK21の経済的支援を受けて実現したのですが、両大学の化学系の交流を引き続き進め、実のあるものとするためには、長期的な計画と交流の具体的システムの構築が必要であると感じています。

《写真は、ポスターセッションの様子》



国際会議・シンポジウム等の開催

○ 第9回北海道大学－ソウル大学ジョイント・シンポジウムを開催 【生命理学専攻】

本学とソウル大学は、1997年に大学間交流協定を締結し、これを記念して1998年に第1回合同シンポジウムを札幌で開催して以来、毎年交互に当番校となって合同シンポジウムが開催されております。本年度9回目を迎えるこの北海道大学－ソウル大学ジョイント・シンポジウムが、本学及び北海道厚生年金会館を会場として開催されました。

今回、生命理学専攻の河野敬一教授と生命科学院生命情報分子科学コースの出村誠教授、さらにソウル大学薬学部のBon-Jin Lee教授を組織委員とする分科会が、1月25日（木）～26日（金）の2日間、北海道大学理学部5号館で「Satellite Session “Symposium on Structural Analysis of Biological Macromolecules”（たんぱく質の形と働き）」と題して開催されました。ソウル大学から7名、西江大学から1名、忠北大学校工科大学から1名、韓国基礎科学支援研究所から1名、計11名の教授、助教授、研究員、大学院生を招き、タンパク質のNMR、X線解析、ロドプシンの科学を中心に、講演数は21件でした。このうち半数を若いPD、大学院生が占めており、若手に英語口頭発表の機会を与えることが本シンポジウムの大きな目標でした。今後このような行事を頻繁に行うことにより大学院教育改革に繋げていきたいと思っております。

ポスターセッションでは日韓の学生25名によるポスター発表があり、日韓の研究者と大学院生との活発なディスカッションおよび交流が行われました。次回はソウルで開催される予定です。このシンポジウムは、理学研究院国際シンポジウムとしての資金援助を受けて開催されました。

（組織委員代表 河野敬一）

《写真は、講演風景（左下）と大学院生によるポスター発表・韓国研究者との交流（右上）》



国際会議・シンポジウム等の開催

○「International Mini - symposium on Advanced Chemistry and Chemical Education」を開催

（先端の化学および化学教育に関する国際ミニシンポジウム）について

2007年2月5日、理学院化学専攻において、大学院教育イニシアチブ「高邁なる大志を抱いたT型化学者養成」プログラムの一環として、ノーベル賞受賞者で、現在台湾での化学教育に多大な貢献をされているY.T.Lee先生、そして、サッカーボール形分子C60の産みの親の一人、ドイツのW. Kratschmer先生をお招きし、標題の国際シンポジウムが開催されました。

Kratschmer先生には、放電技術によってC60の大量合成が可能となった経緯などを分かりやすく講演していただきました。また、Lee先生には、地球環境保全に対する化学者の役割や、将来化学者をめざす学生諸君への熱いメッセージを、化学教育という立場からお話しいただきました。この日は理学部7号館3階の大講義室がほぼ満員になるほどに盛況で、大学院生ばかりでなく学部生の参加も多かったことから、Lee先生には日本語にてのご講演をお引き受けいただきました。また、Lee先生と交友の深い本学名誉教授の鈴木章先生にも会場にお越しいただきました。当日は、大学院生によるポスターセッションもあわせて行われ、世界を代表する3人の先生方と、直接討論をする機会にも恵まれました。化学専攻－化学科の学生諸君、化学部門の教員には、永く心に残るシンポジウムとなりました。

《写真は、会場とLee先生の講演の様子》
（右方はポスター）



国際会議・シンポジウム等の開催

○「北大帝人ブレインストーミングワークショップ」を開講

北海道大学は帝人株式会社との包括連携の下、産学連携による研究交流、人的交流などを積極的にすすめています。このたび、包括連携による新たな取り組みとして「人材育成」を目指したカリキュラムが理学院生命理学専攻にて開講されました。「北大帝人ブレインストーミングワークショップ」と称する本カリキュラムは、民間企業の人材育成ノウハウによって「会議力」や「発想力」の習得を目指すものです。受講対象者を博士後期課程に限定しているのも特徴の一つで、高度な専門的知識に加え柔軟な思考力の習得が期待されます。本年度半年間にわたり月2回各週ペースで開催されるワークショップの終了後には、帝人本社において受講者による発表会が企画されています。なお、本年度後期は理学院あるいは北大全体に受講希望者の募集が行われる予定です。

(写真) ワークショップの様子。

5人が1チームとなり与えられたテーマについて話し合いを行います。その際、帝人株式会社の担当者の指導により「KJ法」や「ブレインストーミング」といった集団思考法・発想法を実践形式にて習得していきます。



外国人研究者受入状況

期間：2007年01月01日～2007年05月01日

(受入れ部門名：数学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【 経 費 等 ・ 受 入 教 員 】
2007.01.11 -2007.01.16	アメリカ： Wichita State University 教授 Victor Isakov	研究打合せ 【受託研究費・中村玄】
2007.01.16 -2007.01.25	オーストリア： リンツ大学 ポスドク研究員 Mourad Sini	研究打合せ 【受託研究費・中村玄】
2007.02.02 -2007.02.22	イギリス：(無所属・ The University of Sheffield 引退) 元教授 Nick Bingham	研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・井上 昭彦】
2007.02.07 -2007.02.21	中国： 南京林業大学 助教授 Jishan Fan	研究打合せ及びセミナーでの講演 【科学研究費補助金・中村玄】
2007.02.21 -2007.03.21	イタリア：Department of Mathematics, University of Pisa 助手 Matteo Novaga	研究打合せ 【科学研究費補助金(電子研・西浦) ・利根川 吉廣】
2007.03.03 -2007.03.16	アメリカ： ノース・イリノイ大学 統計学科 教授 Mohsen Pourahmadi	研究打合せ 【科学研究費補助金・井上 昭彦】
2007.03.05 -2007.03.10	シンガポール：Department of Mathematics, National University of Singapore 助教授 Soo Teck Lee	研究集会への参加と講演 【科学研究費補助金・山下 博】
2007.03.14 -2007.03.26	イギリス：Mathematics Department, Imperial College 講師 Stefano Luzzatto	「Y. Pesin氏－高橋陽一郎氏 還暦祝 賀 記念国際研究集会 Dynamics of Complex Systems」への参加と 研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・由利美智子】
2007.03.14 -2007.03.26	アメリカ：Department of Mathematics, Pennsylvania State University 教授 Dmitry Dolgopyat	「Y. Pesin氏－高橋陽一郎氏 還暦祝 賀 記念国際研究集会 Dynamics of Complex Systems」への参加と

		研究打合せ 【科学研究費補助金・由利美智子】
2007.03.16 -2007.03.31	アメリカ： University of Pennsylvania 教授 Yakov Pesin	「Y. Pesin氏 – 高橋陽一郎氏 還暦祝賀 記念国際研究集会 Dynamics of Complex Systems」への参加と 研究打合せ 【科学研究費補助金・由利美智子】
2007.03.30 -2007.04.08	台湾： Taiwan Natinal Chung Chneg University 准教授 Ching-Lung Lin	研究打合せ 【科学研究費補助金・中村 玄】
2007.04.01 -2007.04.15	アメリカ： Department of Aerospace and Mecanical Engineering, University of Southern California 教授 Paul Newton	研究打合せ 【COE補助金（小澤）・坂上 貴之】
2007.05.20 -2007.05.27	アメリカ： なし （元： University of Illinois at Urbana-Champaign (UIUC)) 名誉教授 Philippe Tondeur	研究集会への参加 【私費（研究者本人負担）・石川 剛 郎】

(受入れ部門名：物理学)

年月日 (期間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2006.11.03 -2007.01.24 【再掲】	ロシア： Russian Academy of Sciences, Ural Division (ロシア科学アカデミー・ウラル研究 所) Anton Buzlukov	2カ国間共同研究事業による「強相関 電子 系金属酸化物における相転移と量子臨 界 現象の研究」 【日本学術振興会事業・熊谷 健一】

(受入れ部門名：化学)

年月日 (期間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2006.05.01 -2007.03.18 2008.04.30 (H20.6.10修正) 【再掲】	スウェーデン： 日本学術振興会・外国人特別研究員 Reza Dabirian Tehrani	分子内の電子伝導に及ぼす分子内相互 作用の効果に関する研究業務 【日本学術振興会事業・魚崎 浩平】
2006.07.01 -2007.03.31 【再掲】	カナダ・オンタリオ州： 大学院理学研究院・学術研究員 Deyu, Qu	金表面への有機薄膜の構造制御成長に 関する研究業務 【北海道大学（教育研究支援資金） ・魚崎 浩平】
2007.01.24 -2007.01.26	大韓民国： ソウル大学化学部	北海道大学 – ソウル大学合同シンポジ ウ

	准教授 Byeong-Hyeok Sohn	ムへの参加および研究室の視察 【外国政府・研究機関及び国際機関によるもの・魚崎 浩平】
2007.01.24 -2007.01.26	大韓民国： ソウル大学化学部 教授 Hasuck Kim	北海道大学－ソウル大学合同シンポジウム ムへの参加および研究室の視察 【外国政府・研究機関及び国際機関によるもの・魚崎 浩平】
2007.01.24 -2007.01.26	大韓民国： ソウル大学化学部 教授 Heon Kang	北海道大学－ソウル大学合同シンポジウム ムへの参加および研究室の視察 【外国政府・研究機関及び国際機関によるもの・魚崎 浩平】
2007.01.24 -2007.01.26	大韓民国： ソウル大学化学部 准教授 Jwa-Min Nam	北海道大学－ソウル大学合同シンポジウム ムへの参加および研究室の視察 【外国政府・研究機関及び国際機関によるもの・魚崎 浩平】
2007.01.24 -2007.01.26	大韓民国： ソウル大学化学部 教授 Kwan Kim	北海道大学－ソウル大学合同シンポジウム ムへの参加および研究室の視察 【外国政府・研究機関及び国際機関によるもの・魚崎 浩平】
2007.02.03 -2007.02.06	台湾：Academia Sinica, President (台湾中央研究院、院長) Yuan Tseh Lee	化学専攻主催国際会議(International Mini-symposium on Advanced Chemistry and Chemical Education)への参加 【その他・魅力ある大学院教育イニシアティブ・鈴木 孝紀】
2007.02.03 -2007.02.06	ドイツ：Max-planck-Institute, Professor (マックスプランク研究所、教授) Wolfgang Kratschmer	化学専攻主催国際会議(International Mini-symposium on Advanced Chemistry and Chemical Education)への参加 【その他・魅力ある大学院教育イニシアティブ・鈴木 孝紀】

(受入れ部門名：自然史科学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2006.08.01 -2007.01.31 【追加報告】	ドイツ・キール： ドイツ海洋研究所 博士研究員 Miriam Pfeiffer	日本学術振興会外国人特別研究員 (サンゴ骨格を用いた熱帯域の環境解析研究) 【日本学術振興会事業・渡邊 剛】
2007.02.16 -2007.02.24	USA・Denver, Colorado： Denver Museum of Nature & Science・ Curator デンバー自然科学博物館・学芸員 Kenneth Carpenter	COE「新・自然史科学創成」の研究課題に 関する共同研究・打合せ、講演など 【21世紀COEプログラム経費・西 弘嗣】

2007.03.19 -2007.12.31	USA・Seattle. : PhD student of archaeology at the University of Washington (ワシントン大学・博士課程大学院生) James Taylor,	同位体分析をもちいたオホーツク文化 集 団移動の解析に関する研究 【外国政府・研究機関及び国際機関に よる もの・総合博物館・天野 哲也】
---------------------------	--	--

(受入れ部門名：生命理学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2006.02.24 -2007.02.23 【再掲】	中国： 長江大学・教授 Chen, Daqing (陳大清)	研修 【国際協力銀行「対中国円借入者人材育 成 事業」・山本興太郎】

(受入れ部門名：地震火山研究観測センター)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2006.04.01 -2006.07.31 【追加報告】	ロシア・カムチャッカ： ロシア科学アカデミー 火山地震学研究所 主任研究員 Vadim Saltykov	地震学の研究 【北海道大学（外国人教員など）・ 笠原 稔】
2006.09.04 -2006.11.30 【追加報告】	ロシア・カムチャッカ： ロシア科学アカデミー 火山学地球化学研究所 主席研究員 Viktorovna Ponomareva	津波堆積物の研究 【北海道大学（外国人教員など）・ 谷岡 勇市郎】
2006.12.05 -2007.03.29 【再掲】	インド： 大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 特任教員（特任助教授） Nagendra Pratap Singh	火山体，活断層地域での電磁気的手法 に よる地下構造探査の構造分解能を向上 さ せる研究業務 【北海道大学（外国人教員など）・ 茂木 透】
2006.12.05 -2007.03.30 【追加報告】	インド： パラスヒンズー大学・助教授 Nagendra Pratap Sing	地下構造探査法の研究 【北海道大学（外国人教員など）・ 茂木 透】
2007.04.01 -2007.06.30	ノルウェー： ベルゲン大学・教授 Rolf Mjelde (ロルフ・ミエルデ)	海底地震学の研究 【北海道大学（外国人教員など）・ 高波 鐵夫】

海外からの来訪者（短期滞在）

中国人民大学学長御一行・理学研究院訪問

平成19年4月18日 中国人民大学 紀宝成学長他5名が本研究院を訪れ、山口研究院長、伊土副研究院長、脇坂事務部長と意見交換を行った。

中国側からは「学部・学院・研究院」の相違点、教員が担当している講義コマ数など具体的な部分まで話がおよび予定時間を大幅に越えた熱のこもった意見交換が行われた。



（意見交換中の山口研究院長・伊土副研究院長）



（中国側と対応中の脇坂事務部長）

期間：2007年01月01日～2007年05月01日

【受入れ部門名：化学】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
2006.04.19 【追加報告】	ドイツ：マックスプランク石炭化学研究所 Prof. Benjamin List	有機触媒の開発に関する講演「Discovering New Organocatalytic Reactions」および情報交換 (澤村 正也)
2007.03.22	Bangladesh : Univ. Dhaka Professor・A. F. M. Yusuf Haider	大学施設等の視察 (居城 邦治)
2007.03.22	Bangladesh : Univ. Dhaka Professor・R. I. M. Aminur Rashid	大学施設等の視察 (居城 邦治)
2007.03.22	Bangladesh : Univ. Dhaka Professor・Md. Shafi Chowdhury	大学施設等の視察 (居城 邦治)
2007.03.22	Bangladesh : Univ. Dhaka Professor・A. M. Shafiqul Alam	大学施設等の視察 (居城 邦治)
2007.03.22	Taiwan : National Taiwan Normal Univ Professor・H.E. Horng	大学施設等の視察 (居城 邦治)
	Taiwan : National Taiwan	大学施設等の視察

2007.03.22	Normal Univ Professor・H.C. Yang	(居城 邦治)
2007.03.22	Taiwan : National Taiwan Normal Univ Professor・S. Y. Yang	大学施設等の視察 (居城 邦治)

【受入れ部門名：自然史科学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2007.05.07 -05.11	トルコ：コジャエリ大学・ 大学院生・Taciser Cetinol	共同研究の打合せ (吉澤 和範)

【受入れ部門名：生命理学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2007.01.09 -01.24	Australia : Wollongong大学 Professor・Dr. Hugh. R. Brown	研究交流及びセミナー "Toughening Mechanisms in Polymer Gels" (龔 劍萍)
2007.01.10 -01.22	フランス : ESPCI, Laboratoire PPMD Professor・Dr. Costantino Creton	研究交流及びセミナー "Role of Dissipative Processes in Fracture Toughness of Polymer Gels" (龔 劍萍)
2007.04.02	中国：浙江大学 副書記・王玉芝	大学施設等の視察 (龔 劍萍)
2007.04.02	中国：国際教育学院 副院長・劉 輝	大学施設等の視察 (龔 劍萍)
2007.04.02	中国：国際教育学院 職員・卓建通	大学施設等の視察 (龔 劍萍)
2007.01.25 -01.26	韓国：ソウル大学 教授 Bong-Jin Lee	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：ソウル大学 助教授 Chaok Seok	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：ソウル大学 特任教授 Hye-Jin Yoon	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：ソウル大学 P D Jun-Yong Ha	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：ソウル大学 P D Won-Je Kim	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：ソウル大学 D C Ji-Hun Kim	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)

2007.01.25 -01.26	韓国：ソウル大学 D C Min-Duk Seo	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：ソウル大学 M C Hyeon-Woo Kim	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：西江大学 助教授 Kwang-Hwan Jung	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：忠北大学校工科大学 (シンポジウム当時は阪大蛋白研に出向 中) 助教授 Soo-Jae Lee	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)
2007.01.25 -01.26	韓国：基礎科学支援研究所 研究員 Young-Ho Jeon	第9回北大－ソウル大ジョイント シンポジウムの参加 (河野 敬一)

学位授与

平成19年3月23日付け学位授与者（42名）

（課程博士）

佐々木 格（数学専攻）

Spectral Analysis of the Dirac-Maxwell System
（ディラック・マクスウェル システムのスペクトル解析）

主査 教授 新井 朝雄

佐々木 浩宣（数学専攻）

Scattering and inverse scattering problems for nonlinear Klein-Gordon equations
（非線型クライン・ゴルドン方程式に関する散乱及び逆散乱問題について）

主査 助教授 津田谷公利

寺澤 祐高（数学専攻）

Navier-Stokes equations with initial data in uniformly local L^p spaces and weak type(1,1) estimates of Hardy-Littlewood maximal operators
（一様局所 p 乗可積分関数を初期値とするNavier-Stokes方程式とHardy-Littlewood極大作用素の弱（1, 1）評価）

主査 教授 小澤 徹

長瀬 優子（数学専攻）

A singular perturbation problem arising from phase field model
（フェイズフィールドモデルから生じる特異摂動問題）

主査 助教授 利根川吉廣

沼田 泰英（数学専攻）

Pieri's formula for generalized Schur polynomials
（一般化されたシューア多項式におけるピエリ公式）

主査 助教授 齋藤 睦

袁 暁輝（数学専攻）

Heterogeneity-induced defect bifurcation and pulse dynamics for a three-component reaction diffusion system
（3種反応拡散方程式系の非一様媒質における進行パルスのダイナミクス）

主査 教授 西浦 廉政

粟野 穰太（物理学専攻）

N H₃ lines observation of the Orion filament region with the Hokkaido University 11-m radio telescope
（北大11m電波望遠鏡によるオリオンフィラメント領域のNH₃輝線観測）

主査 助教授 羽部 朝男

石橋 康彦（物理学専攻）

Mechanism of Carrier Recombination in Boron Implanted and Doped Silicon

(シリコンにおける輻射再結合メカニズムに関する研究)

主査 教授 中原純一郎

小宮 悠 (物理学専攻)

Probing the Early Universe with Extremely Metal-Poor Stars as Living Fossils in the Galaxy
(銀河系における生きた化石としての超金属欠乏星を用いた初期宇宙の解明)

主査 教授 藤本 正行

橋本 暁仁 (物理学専攻)

Scanning Tunneling Microscopy and Spectroscopy of Novel Charge Order in Superconducting $\text{Bi}_2\text{Sr}_2\text{CaCu}_2\text{O}_{8+\delta}$
(走査トンネル顕微法による $\text{Bi}_2\text{Sr}_2\text{CaCu}_2\text{O}_{8+\delta}$ における新奇電荷秩序の研究)

主査 教授 伊土 政幸

松原 一郎 (物理学専攻)

Femtosecond pump probe spectroscopy in CuIr_2S_4
(CuIr_2S_4 におけるフェムト秒ポンププローブ分光)

主査 助教授 三品 具文

荒木 武志 (化学専攻)

A Spectroscopic Study on Chemical Characteristics at Liquid/Liquid Interfaces in Bulk and Microchip Systems
(液/液界面の化学的特性に関する分光学的研究)

主査 教授 喜多村 昇

佐藤 政秋 (化学専攻)

非筋細胞ミオシンIIBのアイソフォーム特異的会合に関する研究

主査 教授 矢澤 道生

沢井 良尚 (化学専攻)

Studies on Preparation and Application of Metal Nanostructures Providing Ultra-Small Photo-Active Site
(極微小光機能部位を有する金属ナノ構造の構築と応用に関する研究)

主査 教授 村越 敬

竹村 淳志 (化学専攻)

Synthetic Studies on Marine Natural Cyclic Ether Compounds
(環状エーテル構造を有する海産天然物の合成研究)

主査 教授 鈴木 孝紀

田上 款 (化学専攻)

ATP-Induced Catalytic Subunit Interactions in Tetraprotomeric Na/K-ATPase
(四量体Na/K-ATPaseのATPにより誘導される触媒サブユニット間相互作用に関する研究)

主査 教授 坂口 和靖

三國 新太郎 (化学専攻)

Single cell analysis of intranuclear binding process of glucocorticoid receptor using fluorescence correlation spectroscopy
(蛍光相関分光法を用いたグルココルチコイドレセプターの単一細胞における核内動態の解析)

河井 (渡邊) 雅子 (生物科学専攻)

Comparative studies on ecological distribution, production and growth in two species of temperate seagrasses (*Zostera asiatica* and *Z. marina*)

(温帯性海草2種(オオアマモ・アマモ)における生態分布, 生産および生長に関する比較研究)

主査 教授 向井 宏

川本 思心 (生物科学専攻)

Studies on the mechanism of head and tail regeneration in *Enchytraeus japonensis* (Annelida, Oligochaeta)

(ヤマトヒメミミズの頭尾再生機構に関する研究)

主査 助教授 柄内 新

小坂 朱 (生物科学専攻)

Phenotypic and functional characteristics of asialoGM1+CD8+central memory-type T cell as a novel immunomodulator of type 1 immunity

(タイプ1免疫の新規免疫調節細胞であるasialoGM1+CD8+セントラルメモリータイプT細胞の表現形とその機能的性状に関する研究)

主査 教授 西村紳一郎

佐々木 貴規 (生物科学専攻)

Studies on the oligomeric formation of archaeal rhodopsins and its effect on the light driven ion pump function

(古細菌ロドプシンの多量体形成とその光駆動イオンポンプ機能への効果)

主査 教授 出村 誠

嶋脇 健 (生物科学専攻)

Chemical Biology of proteoglycan biosynthetic pathway

(プロテオグリカン生合成機構に関する生物有機化学研究)

主査 教授 西村紳一郎

鈴木 マリ (生物科学専攻)

Study on the Mechanisms of Polyglutamine-induced Neuronal Death

(伸長ポリグルタミン鎖により誘導される神経細胞死機構に関する研究)

主査 教授 小池 達郎

武川 泰啓 (生物科学専攻)

A novel glycomic/glycoproteomic approach based on LC/SSI-MS and MS_n spectral matching method

(LC/SSI-MSおよびMS_nスペクトルマッチング法を用いた新規グライコムクス/グライコプロテオミクス解析法に関する研究)

主査 教授 西村紳一郎

谷口 透 (生物科学専攻)

Carbohydrates and Natural Products Analysis via VCD
(VCDによる糖および天然物の解析)

主査 助教授 門出 健次

筒井 友和 (生物科学専攻)

Functional Studies on *Arabidopsis* CAD1 in Plant Immunity
(植物免疫を制御するシロイヌナズナCAD1の機能解析)

主査 教授 山口 淳二

富川 光 (生物科学専攻)

The taxonomy and phylogeny of the superfamily Gammaroidea(Crustacea:Amphipoda)in Japan
(日本産ヨコエビ上科ヨコエビ類(節足動物門:甲殻綱)の系統分類学的研究)

主査 教授 馬渡 駿介

中原 拓 (生物科学専攻)

Computational design and experimental evaluation of glycosyltransferase mutants
(新規糖転移酵素の計算に基づく設計と実験による検証)

主査 教授 西村紳一郎

成地 健太郎 (生物科学専攻)

High Level Expression of Bacterial Glycosyltransferases and its Application to the Syntheses of Glycopeptides and Glycosphingolipids
(細菌由来糖転移酵素の高生産と糖ペプチド、糖脂質合成への利用)

主査 教授 西村紳一郎

尾留川 直子 (生物科学専攻)

Cetacean osmoregulatory mechanisms based on molecular analyses of receptors and transporters in the kidney
(クジラ類の浸透圧調節機構:腎臓の受容体・輸送体の分子生物学から探る)

主査 教授 浦野 明央

藤澤 賢一 (生物科学専攻)

Neurophysiological analyses of the cellular mechanisms underlying central compensation following unilateral statolith removal in crayfish
(ザリガニ片側平衡石除去にともなう中枢性補償機構の神経生理学的解析)

主査 教授 高畑 雅一

水谷 武臣 (生物科学専攻)

Stretch-induced cellular response in the contractile force originated in the phosphorylation and dephosphorylation of myosin II regulatory light chain
(II型ミオシン調節軽鎖のリン酸化と脱リン酸化に起因した伸長刺激に対する細胞の収縮力の応答)

主査 助教授 芳賀 永

山口 愛果 (生物科学専攻)

A molecular phylogenetic study of the heterotrophic dinoflagellate genus *Protoperidium* (Dinophyceae)
(従属栄養性渦鞭毛藻プロトペリディニウム属(渦鞭毛藻綱)の分子系統学的研究)

主査 助教授 堀口 健雄

内野 隆之 (地球惑星科学専攻)

Geology of the Early Carboniferous accretionary complex, Nedamo Terrane, Northeast Japan
-Evolution of the Paleozoic subduction zone along the eastern Asian margin-
(東北日本, 前期石炭紀付加体; 根田茂帯の地質
- アジア東縁域における古生代沈み込み帯の発達過程 -)

主査 助教授 川村 信人

岡田 純 (地球惑星科学専攻)

Coincidental Subsidence During Magmatic Intrusion -A Case Study of Dacite Cryptodome Formation of Mt.Usu
(溶岩ドーム生成活動に伴う沈降現象)

主査 教授 笠原 稔

亀山 宗彦 (地球惑星科学専攻)

Stable isotope geochemistry on the variations of oceanic trace gases through biological activities
(海洋における生物活動に対する微量気体の挙動に関する同位体地球化学的研究)

主査 助教授 角皆 潤

城戸 大作 (地球惑星科学専攻)

Water discharge and sediment load from a glacier-covered drainage basin: observations and modelling
(氷河流域からの水・土砂流出機構: 観測とモデリング)

主査 助教授 知北 和久

杉山 耕一郎 (地球惑星科学専攻)

NH_3 , H_2S の凝結と NH_4SH の生成反応を考慮した木星大気の雲対流ならびにその直接数値計算

主査 教授 林 祥介

濱根 大輔 (地球惑星科学専攻)

Incorporation of ferric iron and aluminum in silicate perovskite and post-perovskite phases in the Earth's lower mantle
(下部マントルにおけるシリケートペロブスカイトおよびポストペロブスカイト相への三価鉄とアルミの固溶)

主査 教授 藤野 清志

巻出 健太郎 (地球惑星科学専攻)

Aluminum-26 and oxygen isotopic distributions of CH-chondrite CAIs and CV-chondrite chondrule
(CHコンドライトCAIとCVコンドライトコンドリュールにおけるアルミニウム-26と酸素同位体分布)

主査 教授 塚本 尚義

山田 由貴子 (地球惑星科学専攻)

大気大循環モデルで表現される赤道域降水活動の組織化と階層的構造

主査 教授 林 祥介

(論文博士)

枋尾 尚哉 (生物科学専攻)

Structural studies on protein domains of unknown function
(機能未知タンパク質ドメインの立体構造解析)

人事異動

対象期間：平成19年1月2日～平成19年5月1日

<正規職員>

平成19年1月10日付け発令

(死亡)

数学部門数学分野助手

北川 浩二

平成19年2月15日付け発令

(辞職)

数学部門数学分野助教授

平成19年2月16日付け九州大学大学院数理学研究科教授へ 辻 井 正 人

平成19年3月1日付け発令

(採用)

物理学部門非線形物理学分野助手

南 谷 哲 宏

平成19年3月31日付け発令

(定年退職)

数学部門数学分野教授

三 宅 敏 恒

物理学部門非線形物理学分野教授

中 原 純一郎

自然史科学部門多様性生物学分野教授

増 田 道 夫

附属地震火山研究観測センター教授

岡 田 弘

化学部門無機・分析化学分野助教授

今 村 平

自然史科学部門地球惑星システム科学分野助手

岩 田 圭 示

技術部技術長（全学教育自然科学実験室（物理系）勤務）

佐 藤 久 志

技術専門員

(辞職)

自然史科学部門宇宙惑星科学分野教授

平成19年4月1日付け神戸大学大学院理学研究科教授へ 数学部門数学分野助教授	林 祥 介
平成19年4月1日付け広島大学大学院工学研究科教授へ 自然史科学部門地球惑星ダイナミクス分野助教授 生命理学部門生命機能科学分野助教授	三 上 敏 夫 前 田 亙
平成19年4月1日付け山形大学理学部教授へ 附属地震火山研究観測センター助教授	長 山 俊 樹
平成19年4月1日付け東京大学地震研究所 附属地震予知研究推進センター准教授へ 化学部門物理化学分野講師	勝 俣 啓
平成19年4月1日付け北里学園北里大学一般教育部准教授へ 物理学部門電子物性物理学分野助手	江 川 徹
平成19年4月1日付け室蘭工業大学工学部准教授へ 物理学部門非線形物理学分野助手	桃 野 直 樹
平成19年4月1日付け信州大学教育学部准教授へ 教務係主任	天 谷 健 一 山 下 ちづえ

平成19年4月1日付け発令

(転出)

自然史科学部門地球惑星システム科学分野教授 理事(副学長) (任期: H19.4.1~H19.4.30, H19.5.1~H21.3.31) へ	岡 田 尚 武
自然史科学部門地球惑星ダイナミクス分野助教授 大学院工学研究科教授へ	笹 谷 努
物理学部門電子物性物理学分野助手 大学院工学研究科准教授へ	市 村 晃 一
会計係長 釧路工業高等専門学校総務課課長補佐(財務担当) へ	梅 原 正 義
外部資金係長 旭川工業高等専門学校総務課課長補佐(財務担当) へ	小笠原 守
総合博物館企画係長 病院医事課係長へ	木 村 一 男
営繕係主任 病院管理課主任へ	新 澤 宏二郎
研究協力係主任	

学務部国際企画課主任へ 佐藤 ひとみ
図書係

附属図書館情報システム課へ 吉田 亘

(命)

理学研究院長・理学院長・理学部長 任期：H19.4.1～H21.3.31

数学部門数学分野教授 山口 佳三

理学研究院副研究院長・理学院副学院長 任期：H19.4.1～H21.3.31

物理学部門電子物性物理学分野教授 伊土 政幸

理学研究院副研究院長・理学院副学院長 任期：H19.4.1～H21.3.31

化学部門物理化学分野教授 稲辺 保

(職務付加)

理学研究院・理学院教授 期間：H19.4.1～H20.3.31

理事（副学長） 岡田 尚武

(昇任)

自然史科学部門宇宙惑星科学分野教授

同分野助教授から 倉本 圭

自然史科学部門多様性生物学分野教授

同分野助教授から 堀口 健雄

技術部技術専門員

同部技術専門職員から 前川 徳光

技術部技術専門員

同部技術専門職員から 小川 正人

課長補佐（庶務担当）（係長（庶務担当）兼務）

庶務係長から 畑中 昌夫

主任（庶務・人事担当）

庶務係から 細貝 美穂

(命免)

技術部技術長

観測技術班長から 岡山 宗夫

技術部観測技術班長

観測技術班第一技術主任から 前川 徳光

技術部観測技術班第一技術主任

観測技術班から 高田 真秀

全学教育自然科学実験室（物理系）勤務

（教員組織の整備に伴う配置換）

理学研究所所属の助教授→准教授

理学研究所所属の助手→助教

※助教授は准教授（Associate Professor）に職名変更となりました。また、助手は助教（Assistant Professor）と助手（Research Associate）に分けられ、理学研究所に在職している助手は全員助教に移行しました。

（職名の一本化に伴う配置換）

課長補佐→課長補佐（総括担当）

専門員（学術・研究担当）→課長補佐（学術担当）

専門員（教育担当）→課長補佐（学務担当）

専門職員（人事担当）→係長（人事担当）

※専門員は課長補佐に、専門職員は係長に、それぞれ職名が一本化されました。

（係名の廃止に伴う配置換）

庶務係→庶務・人事担当

会計係→会計担当

外部資金係→外部資金担当

営繕係→営繕担当

教務係→教務担当

大学院教育係→大学院教育担当

研究協力係→研究協力担当

総合博物館企画係→博物館担当

図書係→図書担当

※従前の係長及び主任は、それぞれ理学・生命科学事務部事務課係長及び同課主任に配置換となり、各担当に勤務することとなりました。

（図書系事務組織の再編に伴う配置換）

図書係長

附属図書館情報サービス課付係長

（派遣先：理学・生命科学事務部事務課図書担当）へ 長井伸一

図書係

附属図書館情報サービス課付

（派遣先：理学・生命科学事務部事務課図書担当）へ 山家尚子

図書係

附属図書館情報サービス課付

（派遣先：理学・生命科学事務部事務課図書担当）へ 石森久美

図書係

附属図書館情報サービス課付

(派遣先：理学・生命科学事務部事務課図書担当) へ 城 恭 子
数学専攻図書室

附属図書館情報サービス課付

(派遣先：理学・生命科学事務部事務課図書担当 石 丸 恵
(数学部門図書室勤務)) へ

※図書系正規職員は附属図書館情報サービス課付に配置換となり、派遣先として理学・生命科学事務部に勤務することとなりました。

(配置換)

主任 (外部資金担当)

会計係主任から 山 本 祐 巳

会計担当

外部資金係から 谷 口 雄 郎

外部資金担当

会計係から 児 玉 直 樹

(転入)

課長補佐 (会計担当) (係長 (会計担当) 兼務)

電子科学研究所会計係長から 三 橋 慎 一

係長 (外部資金担当)

釧路工業高等専門学校会計課総務係長から 菅 野 崇

係長 (博物館担当)

遺伝子病制御研究所会計係長から 江 島 正 博

庶務・人事担当

旭川工業高等専門学校庶務課人事係から 花 田 善 裕

営繕担当

釧路工業高等専門学校会計課施設係から 斉 藤 学

研究協力担当

学術国際部国際企画課国際交流係から 穂 刈 陽 子

図書担当 (附属図書館情報サービス課付)

医学事務部事務課図書整理係から 松 野 とも子

(採用)

技術部研究実験技術班

(工ネルギー分散・波長分散・蛍光X線分析研究室勤務)

技術職員 松 本 亜希子

(再雇用)

技術部研究実験技術班 (全学教育自然科学実験室 (物理系) 勤務)

嘱託職員

技術部技術長 (全学教育自然科学実験室 (物理系) 勤務) 佐 藤 久 志

技術専門員（定年退職）から
教務担当嘱託職員

学務部学生支援課専門員（定年退職）から

平清水 潔

平成19年5月1日付け発令

（昇任）

自然史科学部門地球惑星ダイナミクス分野准教授
同分野助教から

吉澤 和 範

（採用）

化学部門無機・分析化学分野助教
任期：H19.5.1～H24.4.30

小林 厚 志

<非常勤職員>

（採用、転入）

H19. 1. 9	化学部門	学術研究員	喜 多 英 明
H19. 3.15	地震火山研究観測センター	非常勤研究員	中 村 有 吾
H19. 4. 1	数学部門	学術研究員	長 瀬 優 子
H19. 4. 1	数学部門	学術研究員	山 内 雄 介
H19. 4. 1	物理学部門	博士研究員	須 田 拓 馬
H19. 4. 1	物理学部門	学術研究員	堀 田 健 司
H19. 4. 1	物理学部門	技術補助員	吉 田 ひとみ
H19. 4. 1	自然史科学部門	博士研究員	巻出 健太郎
H19. 4. 1	自然史科学部門	学術研究員	宮 坂 瑞 穂
H19. 4. 1	生命理学部門	特任助教	黒 川 孝 幸
H19. 4.	生命理学部門	博士研究員	王 蔚

1			
H19. 4. 1	生命理学部門	技術補助員	野口隆矢
H19. 4. 1	地震火山研究観測センター	学術研究員	丹場舞
H19. 4. 1	地震火山研究観測センター	技術補佐員	三浦亮
H19. 4. 1	数学COE	博士研究員	小杉聡史
H19. 4. 1	数学COE	学術研究員	澤田宙広
H19. 4. 1	数学COE	学術研究員	服部新
H19. 4. 1	数学COE	学術研究員	佐治健太郎
H19. 4. 1	数学COE	学術研究員	泉池耕平
H19. 4. 1	数学COE	学術研究員	沼田泰英
H19. 4. 1	新・自然史COE	博士研究員	石村豊穂
H19. 4. 1	新・自然史COE	博士研究員	齋藤裕之
H19. 4. 1	新・自然史COE	博士研究員	高橋亮平
H19. 4. 1	新・自然史COE	博士研究員	舘卓司
H19. 4. 1	庶務・人事担当	事務補佐員	星野美紀
H19. 4. 1	数学図書	事務補助員	笠原由紀子
H19. 4. 9	物理学部門	技術補助員	佐藤麻子
H19. 5. 1	新・自然史COE	博士研究員	小松大祐
H19. 5. 1	新・自然史COE	技術補助員	石田麻依
H19. 5. 1	数学部門	事務補助員	阿部綾子
H19. 5.	数学部門	事務補助員	三好晋

1

H19. 5. 1 生命理学部門 1 博士研究員 松 崎 潤

H19. 5. 1 外部資金担当 1 事務補助員 橋場 しのぶ

(任期満了退職、辞職、転出)

H19 .2.15 化学部門 学術研究員 喜 多 英 明

H19. 2.16 研究協力係 事務補佐員 佐 藤 麻 子

H19. 2.28 物理学部門 技術補助員 吉 田 ひとみ

H19. 2.28 化学部門 学術研究員 Q u D e y u

H19. 2.28 自然史科学部門 学術研究員 山 田 学

H19. 3.21 物理学部門 学術研究員 土 橋 卓

H19. 3.31 数学部門 学術研究員 渡 辺 道 之

H19. 3.31 物理学部門 事務補助員 鈴 木 比奈子

H19. 3.31 物理学部門 事務補佐員 羽 藤 清 美

H19. 3.31 自然史科学部門 学術研究員 足 立 佳 子

H19. 3.31 自然史科学部門 学術研究員 松 本 亜希子

H19. 3.31 自然史科学部門 博士研究員 石 村 豊 穂

H19. 3.31 自然史科学部門 博士研究員 齋 藤 裕 之

H19. 3.31 生命理学部門 博士研究員 武 藤 秀 樹

H19. 3.31 生命理学部門 博士研究員 佐 藤 壮 一 郎

H19. 3.31 生命理学部門 事務補佐員 津 嶋 美 紀

H19. 数学COE 特任教授 藏 本 由 紀

3.31			
H19. 3.31	数学COE	学術研究員	笠原雪夫
H19. 3.31	数学COE	学術研究員	島倉裕樹
H19. 3.31	数学COE	学術研究員	平田賢太郎
H19. 3.31	数学COE	学術研究員	守屋 創
H19. 3.31	数学COE	学術研究員	岡部 真也
H19. 3.31	数学COE	学術研究員	高橋雅朋
H19. 3.31	バイオとナノCOE	博士研究員	園田 裕
H19. 3.31	バイオとナノCOE	博士研究員	濱 徳行
H19. 3.31	バイオとナノCOE	博士研究員	王 蔚
H19. 3.31	バイオとナノCOE	事務補佐員	前田郁代
H19. 3.31	新・自然史COE	博士研究員	高嶋礼詩
H19. 3.31	新・自然史COE	博士研究員	井尻 暁
H19. 3.31	新・自然史COE	博士研究員	瀬戸雄介
H19. 3.31	庶務係	事務補佐員	早坂祐加
H19. 3.31	教務係	事務補助員	橋本亜季
H19. 3.31	数学図書	事務補助員	杉山弘美
H19. 4.13	自然史科学部門	博士研究員	卷出 健太郎
H19. 4.30	自然史科学部門	博士研究員	小松大祐
H19. 4.30	新・自然史COE	博士研究員	河村 裕

行事予定

〈平成19年4月～平成19年10月〉

月	日	曜	事 項
4	2	月	大学院理学院入学式, 学部新入生健康診断 (理学部は午後指定, 全学5日まで)
	4	水	大学院・学部専門科目 (理学部共通科目を除く) 授業開始
	5	木	新入生オリエンテーション及び理学部ガイダンス
	6	金	北海道大学入学式, 学位申請 (4月付託) 締切
	9	月	全学教育部教育情報システム利用ガイダンス・履修ガイダンス (理学部新入生)
	10	火	全学教育科目・理学部共通科目第1学期授業開始
	12	木	研究院・学院代議員会議 卒業・修了年次学生・研究生健康診断 (午前: 理学部, 午後: 大学院理学院等)
	18	水	学部生 (平成17年度以前入学者) 履修届受付【～19日 (木)】 学部生 (平成18年度以降入学者) 履修届Web入力【～24日 (火)】
	19	木	研究院・学院・学部教授会 大学院新入生健康診断 (午後: 理学院)
	23	月	在学生 (卒業・修了年次を除く) 健康診断 (午前: 理学部, 午後: 大学院理学院等)
5	10	木	北海道・東北地区国立大学法人理学部長会議【～11日 (金)】【本学部当番校】
	11	金	6月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	17	木	研究院代議員会議
	18	金	学位申請 (5月付託) 締切
	31	木	学部学科長会議, 研究院・学院代議員会議
6	7	木	開学記念行事日, 大学祭【～10日 (日)】【7日 (木)・8日 (金) 休講】
	上旬		AO入試学生募集要項配布開始
	29	金	学位記授与式, 学位申請 (7月付託) 締切 大学院入試出願資格予備審査申請期間【～7月2日 (月)】
7	12	木	学院入学試験委員会, 研究院・学院代議員会議 大学院入試出願資格予備審査結果通知
	13	金	大学院理学院修士 (博士前期) 課程及び博士後期課程入学願書受付【～19日 (木)】
	17	火	全学教育科目補講日【～18日 (水) 及び24日 (火)～25日 (水)】
	30	月	全学教育科目・理学部専門科目・理学院第1学期授業終了 第2学期授業時間割 (案) 提出締切
	31	火	全学教育科目定期試験【～8月10日 (金)】 理学院・理学部 (専門科目) 夏季休業【～9月21日 (金)】
8	5	日	北海道大学オープンキャンパス
	6	月	理学部体験入学【～7日 (火)】
	10	金	理学部 (物理学科) 編入学試験, 9月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	13	月	全学教育科目第1学期追試験【～15日 (水)】, 全学教育部夏季休業【～9月28日 (金)】
	15	水	全学教育科目第1学期成績帳票提出締切 (非常勤講師等)
	17	金	学位申請 (8月付託) 締切, 研究生・聴講生・科目等履修生入学願書受付【～23日 (木)】
	22	水	大学院理学院修士 (博士前期) 課程及び博士後期課程入学試験【～24日 (金)】
	23	木	正午 全学教育科目・理学部共通科目第1学期成績Web入力締切
9	30	木	学部学科長会議, 研究院・学院代議員会議 編入学試験・大学院入試合格者発表, 非正規生入学許可通知
	中～下旬		学科等分属手続き (平成18年度以降入学者のみ対象)
	20	木	研究院代議員会議
	25	火	学位記授与式, 大学院・学部専門科目補講・集中講義期間【～28日 (金)】
10	28	金	学部1年次学修簿配付, 大学院理学院第二次入試実施申請締切 正午 学部専門科目 (理学部共通科目を除く) 第1学期成績Web入力締切
	1	月	全学教育科目・学部専門科目・大学院理学院授業開始
	5	金	学位申請 (10月付託) 締切
	10	水	学部生 (平成17年度以前入学者) 履修届受付【～11日 (木)】 学部生 (平成18年度以降入学者) 履修届Web入力【～16日 (火)】
	11	木	AO入試出願受付期間【～18日 (木) 17:15必着】
	15	月	大学院履修届受付【～18日 (木)】
18	木	研究院・学院代議員会議	

[<< Back to TOP](#)